

(様式1)

## 平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県西部体育センター スポーツ振興課

2 施設所在地  
砺波市柳瀬2 4 1

3 施設設置年度  
平成11年度

4 設置目的  
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。

5 施設概要  
延床面積：12,345.34㎡ 鉄筋コンクリート造2階建  
(主な設備等)  
大アリーナ(50m×40m・観覧席2,604席)、中アリーナ(34m×29m)  
トレーニング室、体力測定室、研修室

6 指定管理者  
公益財団法人富山県体育協会

7 指定期間  
5年  
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

### 8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
155,405	161,190	166,007	159,298	165,106

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H26	H27	H28	H29	H30
20,631	21,635	22,933	23,388	23,588

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H26	H27	H28	H29	H30
17,954	17,954	17,954	17,954	21,733

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・平成30年度は、大規模大会やプロスポーツチームの公式試合が開催されたこと等により、利用者数、料金収入ともに増加した。
- ・引き続き、大会等の受け入れ体制を確保するとともに、大会等の開催に左右されない個人や団体利用について、利用の少ない時間帯の利用促進を図るなど、利用者数・料金収入の増加に努めてもらいたい。

### (2) サービス向上に向けた取組み

- ・平成30年度から西部体育センター、総合体育センター及び高岡総合プールにおいて、3施設のトレーニング室共通利用券を発行するとともに、トレーニング室の利用時間の拡充（2時間⇒3時間）を行った。
- ・平成30年度から回数券の有効期限の延長（半年⇒1年）を行った。
- ・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げや閉館時間の延長に柔軟に対応した。  
(繰上げ開館92件、閉館延長12件)
- ・ホームページやSNSを活用し、大会やイベント開催時における飲食物販売や駐車場利用状況等の情報を積極的に発信し、サービス向上に努めた。
- ・施設利用者等へのアンケート調査やモニタリングの実施により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
- ・引き続き、スポーツサウナ利用時間の延長運用を行った(平日30分延長、土曜日4時間繰上げ)。
- ・研修室の利用時間区分について、平成25年度より、1時間単位で利用できるようにしている。
- ・施設利用者の便宜を図るため、引き続き飲料等の自動販売機を設置した。
- ・隣接する砺波市温水プール及び地域スポーツクラブと連携し、事業や通常業務の一体的な運営に努め、サービスの向上に努めた。
- ・職員のスキルアップを図るため、職員に対する研修を実施し、サービスの向上に努めた。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・平成30年度から、第1トレーニング室の個人利用者向けにシニア料金（満65歳以上、通常料金より2割引）を設定した。
- ・比較的利用の少ない平日午前中の大・中アリーナの利用を促進するため、平成30年度から個人利用者向けの朝割料金を設定した。
- ・平成25年度からポイントカードを発行し、一定のポイントに達した利用者が施設を無料で利用できるサービスを行い利用促進を図っている。
- ・平成28年度からレディースデイを設定し、女性の利用者の増を図っている。
- ・情報誌「ジムワールド」を毎月発行し、地元市、近隣市に広く配布するとともに、ホームページの充実をはかり各種情報を提供している。
- ・地元ショッピングモールで出張体力測定を実施し、施設のPRを行った。
- ・自主事業として、健康体力づくりとして「トレーニング入門教室」などの教室を開催し、施設のPRと利用者の増に努めた。
- ・県総合体育センターと連携し、TOYAMAアスリートマルチサポート事業の拠点施設として、サポート競技及びサポート選手に対して、体力測定（延べ101名）やトレーニング指導（481名）を行った。
- ・地域スポーツクラブ及び隣接する砺波市温水プールと連携し、体育の日にスポーツフェスティバル（施設の無料開放、演技発表会、スポーツ教室、体力測定等）を開催した（延べ8,661名参加）。
- ・中学生以上を対象にスポーツや健康に関する川柳コンクールやスポーツ写真コンテストを実施し、施設の幅広い認知に努めた。
- ・季節に応じ、施設内に七夕やクリスマスツリーを、正面入口にはイルミネーションを点灯し、集客に努めた。
- ・「体力測定キャンペーン」を12月の1か月間実施し、一般体力測定の料金を団体扱いとして利用促進を図った。（71名参加）
- ・隣接する砺波市温水プールと連携して、各施設の利用者の相互利用の促進に努めた。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：①主催教室参加者、②プレゼント応募者
回答者数	回答者数：①60人、②559人
結果	・意見・要望等 スタッフが親切、年間パスがあれば便利、シャワー室の数増えればいい 等
結果を踏まえた改善事項	接客では、引き続き、笑顔で対応するよう心がける。 トレーニング室での指導力の向上等を目指し、職員全員で連絡を密にし、指導に一貫性をもたせるよう努める。

#### ②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・モニタリングの実施  
⇒年1回、利用者から17名を抽出し、設備、環境や職員の接遇についてモニタリングを実施（回答者 15名：全体の平均評価 5点満点中4.1点）
- ・運営協議会の開催  
⇒年1回、学識経験者や利用者の代表等12名の委員で構成する協議会を開催し、運営方針等の協議、利用者の意見、要望について情報交換を実施

③主な苦情と対応

- ・男子サウナの床板の釘が出ているので危険  
⇒ 釘を打ち直す等して対応するとともに、タオル交換時等に確認を徹底した。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

- ・西部体育センターを拠点とする地域スポーツクラブと連携し、同クラブでは、毎週木曜日(10～12時)を「SEIBUスポーツデー」として利用促進を図っている。
- ・地元の医療機関などと連携し、中高齢者を対象に、生活習慣を改善する講習会等を無料で開催し、医師による運動プログラムを提供した。
- ・地元の障害児入所施設や学校等からの要請を受け、運動指導を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は概ね適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・全職員を対象とした救急救命・AED講習会の実施
- ・危機管理マニュアル(安全利用・緊急対応マニュアル)沿った対応を現場で確認し、職員に徹底した。
- ・隣接する砺波市温水プールとの連携を深め、一体的な緊急連絡体制を確立した。
- ・自衛消防訓練の実施(砺波市温水プールと合同実施)

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	2
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

## 11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・平成30年度から新たな料金体系の設定や、トレーニング室の利用時間の拡充、回数券の有効期限の延長等、新たな取り組みを始めたところであるが、これらの取り組みの成果を十分に検証しつつ、一層のサービス向上、利用促進に努めてもらいたい。
- ・利用者の意見、要望を踏まえ、より使いやすい施設となるよう利用促進及びサービス向上に向けた取り組みを継続するとともに、引き続き、利用の少ない時間帯などについて利用の促進を図るような工夫を行っていくことが望まれる。
- ・隣接する砺波市温水プールについては、施設を管理する地域スポーツクラブと連絡を密にし、利用者の相互利用の利便性確保に一層努めるとともに、双方の施設の利用増につなげていくことが必要である。
- ・県西部における競技力向上の拠点として位置づけられていることから、県総合体育センターや各競技団体と連携し、総合的な競技力向上に一層努めていく必要がある。
- ・体力測定や健康相談の活用による新たな利用者の獲得を進めてもらいたい。